

2026年3月期 中間期 決算概要

(2025年4月1日～2025年9月30日)

株式会社 精工技研

2025年11月18日

- I . 2026年3月期 中間期決算概要
- II . 2026年3月期 連結業績計画

I . 2026年3月期 中間期決算概要

II . 2026年3月期 連結業績計画

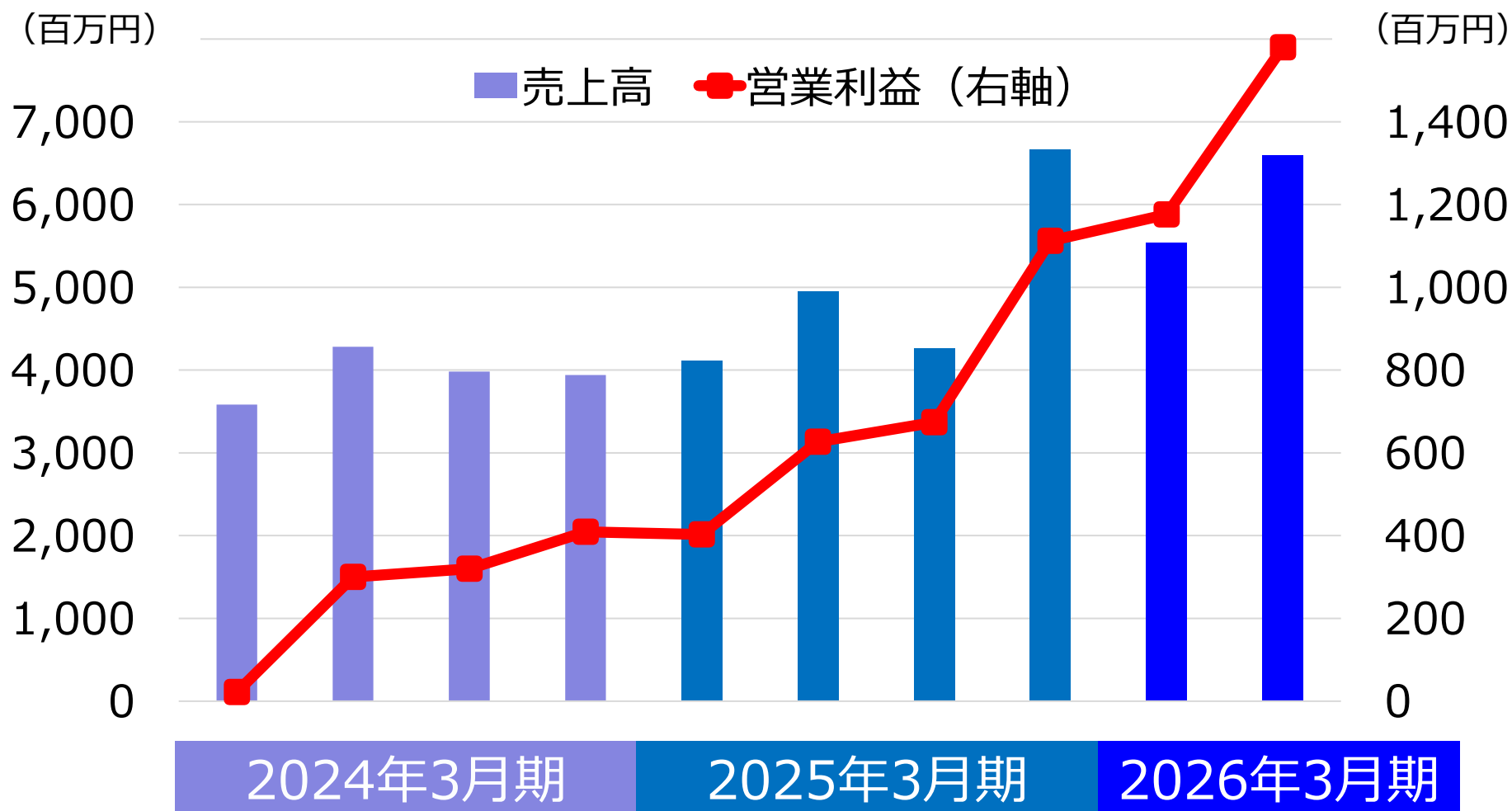
2026年3月期 中間期連結決算ハイライト①

(百万円)	2026年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	対前期 増減率	業績計画値 (2025/5/14)
売上高	12,133	9,062	+33.9%	11,200
営業利益	2,756	1,030	+167.6%	1,600
経常利益	2,854	1,046	+172.8%	1,650
中間純利益	2,229	772	+188.6%	1,270

- 連結子会社化したエムジーと、好調な光製品関連が増収増益に寄与
- 売上高と各段階利益は、中間期として過去最高を更新

2026年3月期 中間期連結決算ハイライト②

■ 連結損益 四半期推移



2026年3月期 中間期連結決算ハイライト③

(百万円)	2026年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	対前期増減率
受注高	15,231	9,918	+53.6%
受注残高	7,483	3,633	+105.9%
設備投資	407	294	+38.7%
減価償却費	420	474	△11.5%
研究開発費	291	232	+25.2%

精機部門／主要製品・主要技術

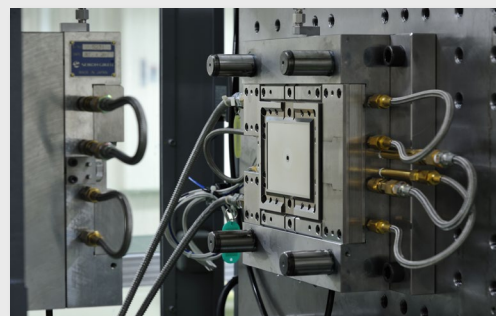
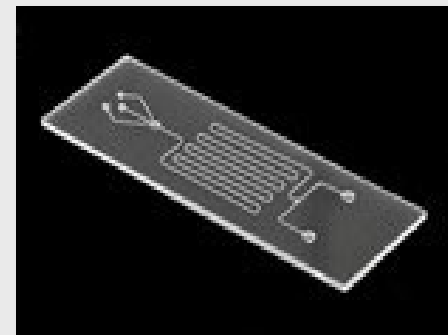
◆ 成形品

車載用インサート成形品

樹脂射出成形品

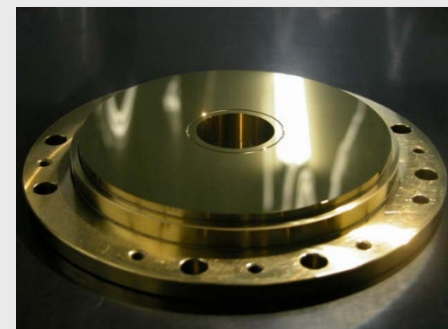
二色成形品

金属プレス成形品 等



◆ 金型

各種精密金型



◆ その他

精密金属加工部品 等

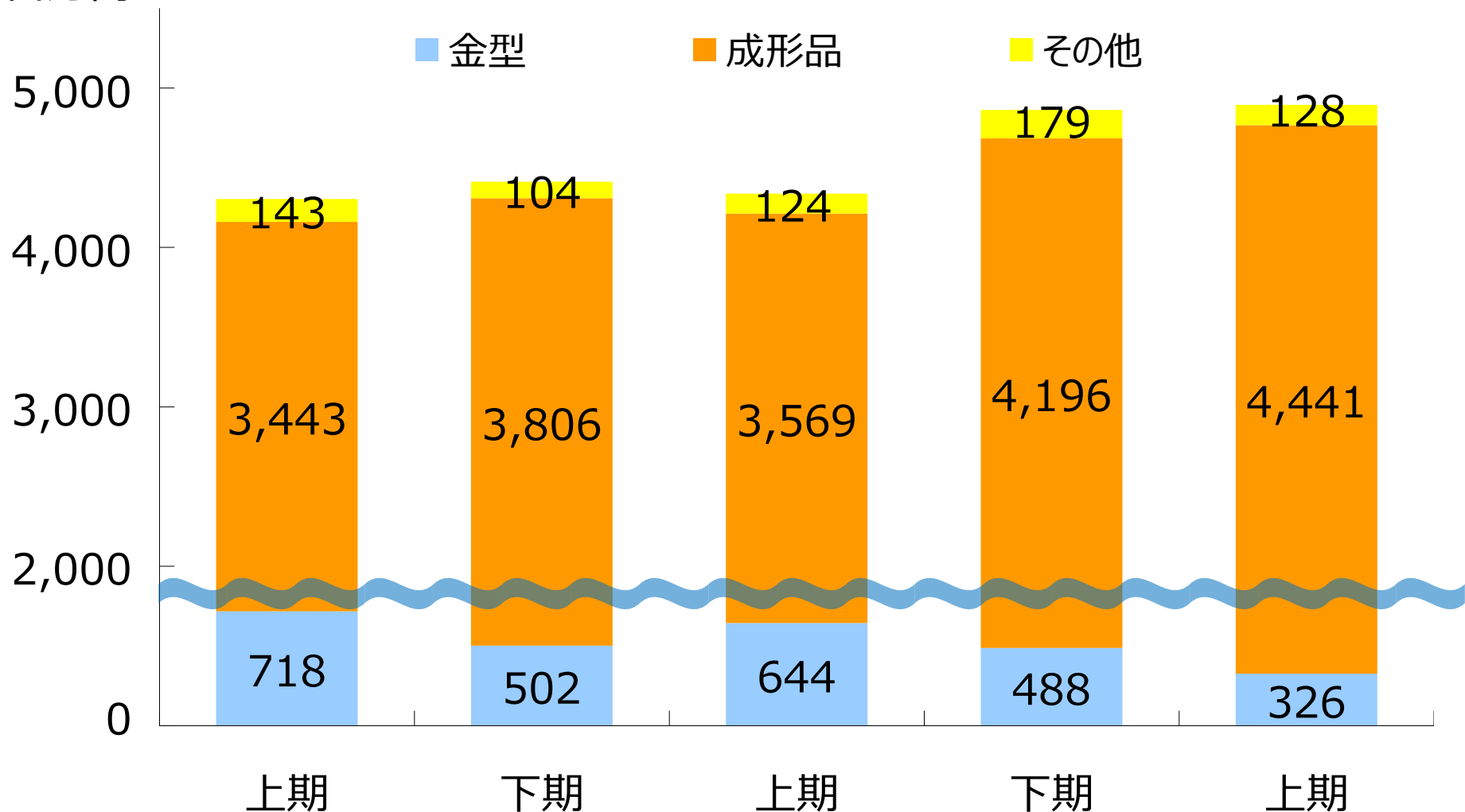
精機部門／セグメント業績

(百万円)	2026年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	対前期増減率	業績計画値 (2025/5/14)
売上高	4,894	4,337	+ 12.9%	5,120
営業費用	4,363	4,148	+ 5.8%	4,850
営業利益	531	189	+ 180.9%	270
営業利益率	10.8%	4.4%	—	5.3%

- 売上高、営業利益ともに、昨年10月に子会社化したエムジー分が純増
- 車載成形品が堅調に推移し、売上高は中間期として過去最高を更新

精機部門／製品別売上高

百万円



2024年3月期

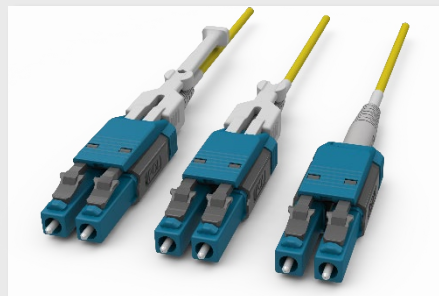
2025年3月期

2026年3月期

光製品部門／主要製品・主要技術

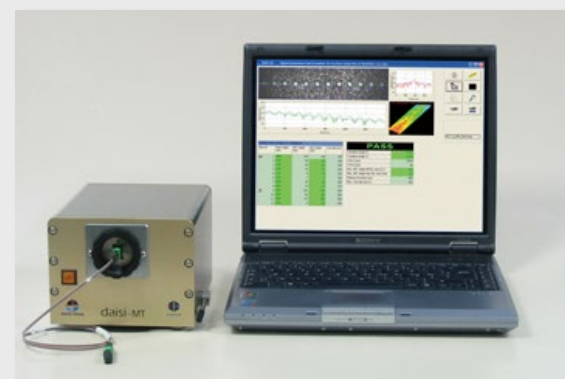
◆ 光通信用部品

光コネクタ
フェルール 等



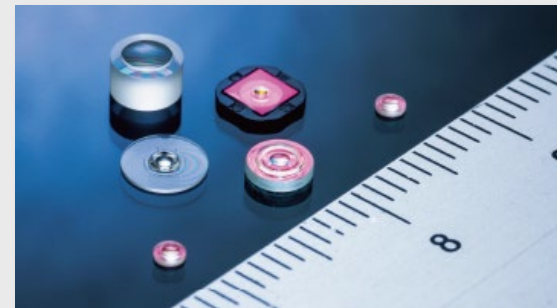
◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機
光コネクタ端面検査装置
光電界センサー 等



◆ その他

超小型レンズ 等

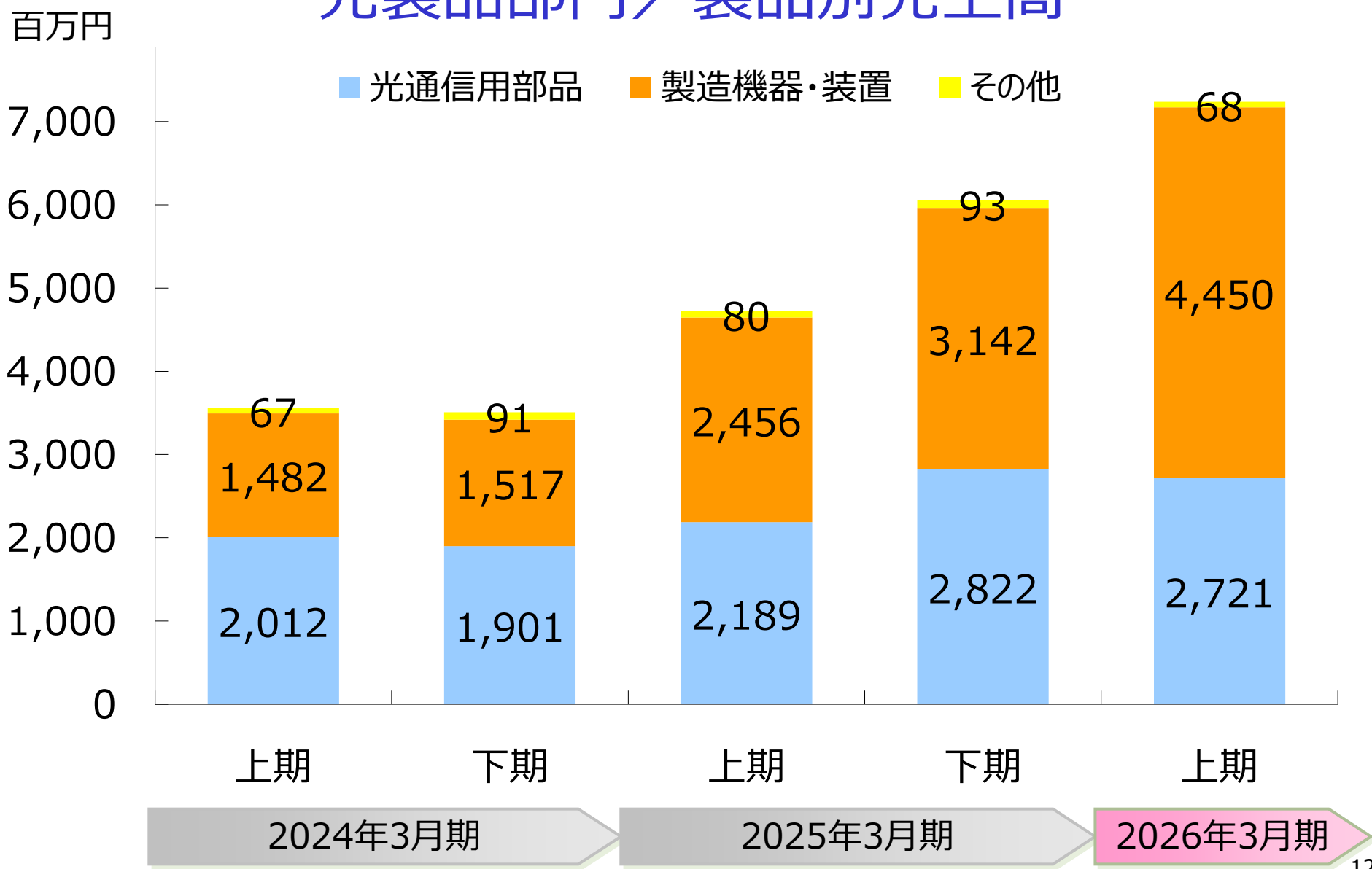


光製品部門／セグメント業績

(百万円)	2026年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	対前期増減率	業績計画値 (2025/5/14)
売上高	7,238	4,725	+53.2%	6,080
営業費用	5,013	3,884	+29.1%	4,750
営業利益	2,224	840	+164.6%	1,330
営業利益率	30.7%	17.8%	—	21.9%

- データセンター向けの光コネクタ需要増により機器・装置の売上が急増
- 機器・装置が牽引し、売上高・営業利益共に中間期として過去最高に

光製品部門／製品別売上高



連結貸借対照表

(百万円)

<資産の部>	2026年3月期 中間期	2025年3月期	増減額
流動資産	25,649	24,042	+1,607
固定資産	10,250	10,341	△91
資産合計	35,900	34,383	+1,516
<負債及び純資産の部>			
流動負債	4,784	4,786	△2
固定負債	1,302	1,452	△150
純資産	29,813	28,144	+1,669
負債純資産合計	35,900	34,383	+1,516

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2026年3月期 中間期	2025年3月期 中間期
営業キャッシュ・フロー	1,141	978
投資キャッシュ・フロー	△210	△342
財務キャッシュ・フロー	△307	△504
現金増減額	456	269
期首残高	7,320	5,065
期末残高	7,776	5,335

2026年3月期 基本戦略

経済価値の最大化 ～事業の成長～

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

新製品・ 新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

社会価値の最適化 ～サステナビリティ～

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

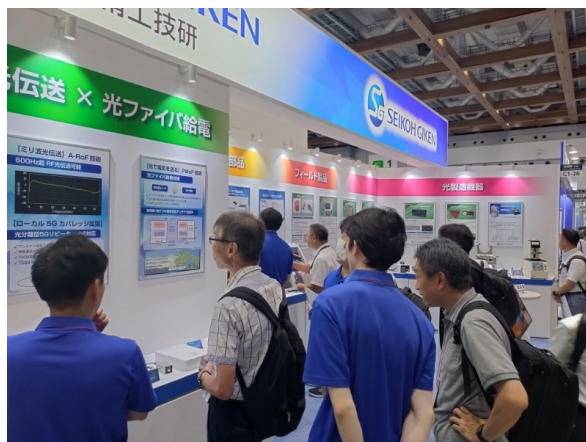
2026年3月期 上期事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

自動研磨装置のプロモーション強化



国内外の展示会でデモ機や動画によりプロモーション
海外大手光コネクタメーカーから複数台の受注獲得

SFPS-V1自動研磨装置

2026年3月期 上期事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

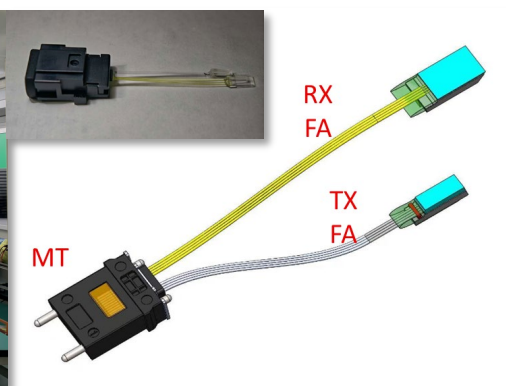
米中データセンター向け光部品 受注増加



DC向け光コネクタ Intelli-Cross PRO



精工訊捷光電ではクリーンルーム内でMTファイバアレイを量産



米国向けには日本本社で内製した自動組立装置により光コネクタを増産

中国では昨年12月に設立した精工訊捷光電有限公司において

光トランシーバー向け部品（MTファイバアレイ）の量産を開始

2026年3月期 上期事業施策

経済価値の最大化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

型内塗装技術の実用化推進



ハイエースのステアリングスイッチに採用



射出成形機



「SSIMC」による加飾成形品

東海理化様と開発した「型内塗装技術」活用のスイッチがトヨタ車に採用

住友重機械工業様と開発した加飾成形技術「SSIMC」のシステム販売決定

2026年3月期 上期事業施策

経済価値の最大化

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

光コネクタ・研磨機の製造能力拡大



SEIKOH GIKEN (THAILAND) / 光コネクタ



光コネクタ研磨機

2025年6月より SEIKOH GIKEN (THAILAND) が生産開始
日本本社では光コネクタ研磨機の製造能力を前期末から2倍に向上

I . 2026年3月期 中間期決算概要

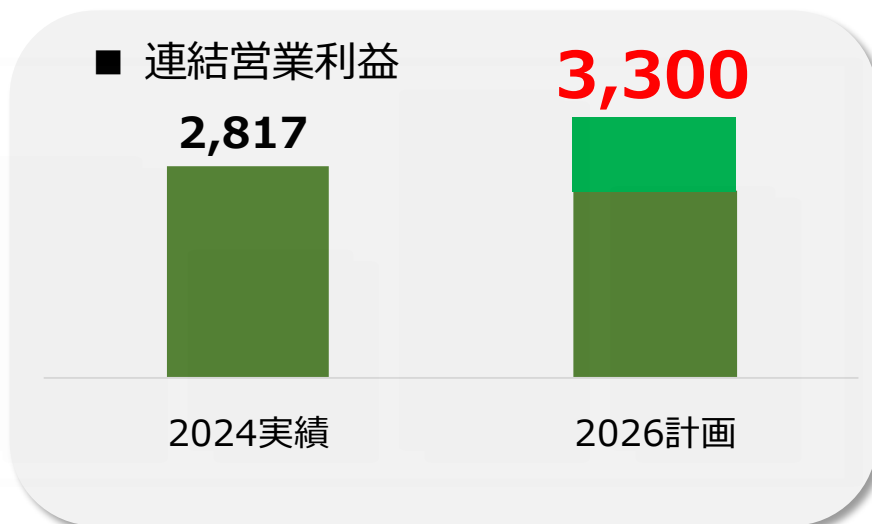
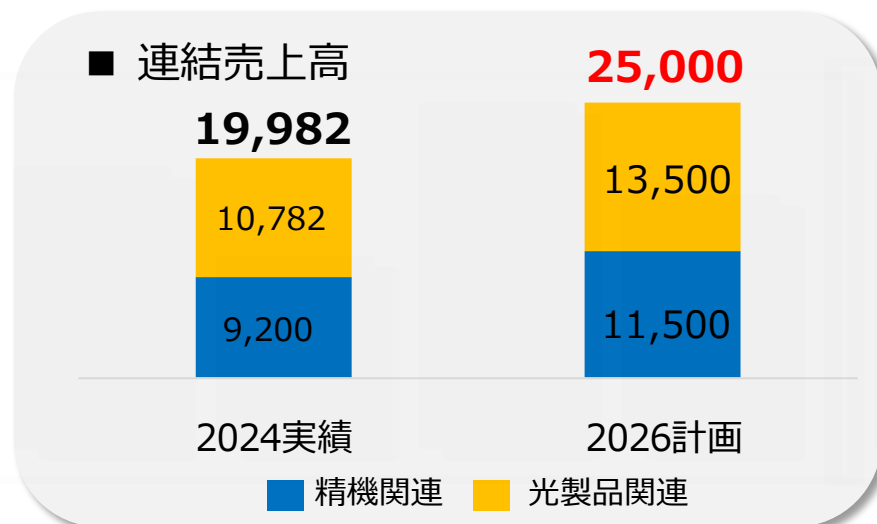
II . 2026年3月期 連結業績計画

中期経営計画
マスタープラン2022
(2022年度～2026年度)

中期経営目標（損益指標）の修正

（単位：百万円）

連結営業利益を **33億円以上**に上方修正（2025/5/14発表）



（単位：百万円）	FY2024実績	FY2026計画	FY2024比
精機関連	9,200	11,500	+ 25%
光製品関連	10,782	13,500	+ 25%
連結売上高	19,982	25,000	+ 25%
連結営業利益	2,817	3,300	+ 17%
営業利益率	14.1%	13.2%	△0.9%

2026年3月期 連結業績計画の修正

(百万円)	上期実績	下期修正計画	通期修正計画 (11/13)	前期実績	対前期 増減率
売上高	12,133	11,867	24,000	19,982	+20.1%
営業利益	2,756	2,144	4,900	2,817	+73.9%
経常利益	2,854	2,146	5,000	2,979	+67.8%
当期純利益	2,229	1,671	3,900	2,225	+75.3%

- 上期末時点の受注残を鑑み、通期業績予想を上方修正
- 下期も引き続き「顧客接点の活性化」による受注の確保に注力
- 2027年度から開始する新たな中期経営計画の策定に着手

部門別下期計画（精機関連）

（百万円）	上期実績	下期修正計画	通期修正計画 （11/13）	前期実績	対前期 増減率
売上高	4,894	4,606	9,500	9,200	+ 3.3%
営業利益	531	369	900	588	+ 53.0%

顧客接点の活性化

新製品・新技術開発の加速

ものづくり力の強化

- ・ エムジーに対する業務支援の実施、協業によるシナジー創出の加速
- ・ 展示会への出展を強化し、新しい顧客との接点を増やす
- ・ ハイブリッド車向けパワーコントロールユニット部品の開発加速
- ・ マイクロ流路デバイス等、医療用樹脂成形品の量産開発
- ・ 加飾成形技術「SSIMC」のシステム販売準備

部門別下期計画（光製品関連）

（百万円）	上期実績	下期修正計画	通期修正計画 （11/13）	前期実績	対前期 増減率
売上高	7,238	7,262	14,500	10,782	+34.5%
営業利益	2,224	1,776	4,000	2,229	+79.5%

顧客接点の活性化

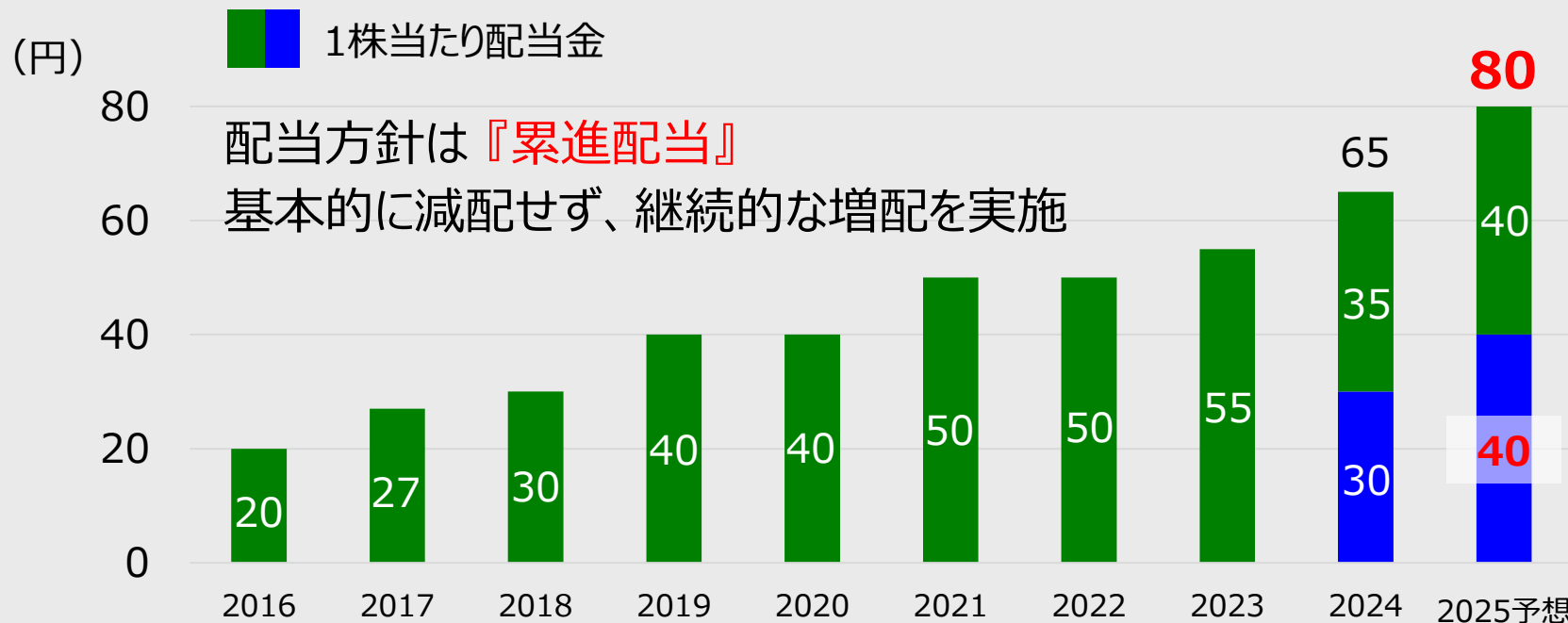
新製品・新技術開発の加速

ものづくり力の強化

- ・ 受注の中心は研磨機・測定装置から、研磨治具や光コネクタへと変化
- ・ 中国子会社の人的リソース増強、タイ子会社の生産数量の増加、日本本社で自動組立装置の増強等による光コネクタ生産数量のアップ
- ・ IOWN構想の軸となる「光電融合」を可能とする光デバイスの開発
- ・ 自動研磨装置のプロモーションを強化し、さらなる受注拡大を目指す

株主還元

		26/3月期 見通し	25/3月期 実績
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	3,900	2,225
1株当たり配当金	円	中間 35→ 40 期末 40 80	中間 30 期末 35 65



ご清聴 ありがとうございました。